

令和7年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称		14 東京都台東区立したまちミュージアム	部課名	文化産業観光部文化振興課	
選定方法		<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団	
			指定期間	R7.4.1 ~ R12.3.31	

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 台東区を中心とした下町の歴史・風俗等に関する資料の収集、保存、及び展示を行い、下町文化の育成等に寄与する
(2)	[所在地] 台東区上野公園2-1 [規模] 延べ床面積1,071.16㎡ RC造 地上3階地下1階建 収蔵庫、荷解スペース、工作室、機械室、倉庫、展示スペース、エントランスホール、バリアフリートイレ、授乳室、企画展示室、下町情報検索コーナー、多目的室、学芸室、事務室、エレベータ機械室、塔屋など
(3)	[委託事業] 下町の歴史、芸術、風俗、産業等に関する実物、標本、模型、文献などの資料の収集、保管、及び展示。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の整理整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業 [自主事業] 企画展「下町ってどんな町」、伝統工芸体験教室
(4)	[利用者] 区民、一般来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 開館日：休館日（月曜日/12月29日～1月3日/特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
(6)	[人員体制] 10名 (内 訳) 固有管理職0B (1) 派遣職員 (1) 研究員 (2) 会計年度任用職員 (1) 専門員 (2) 特例嘱託員 (3) (前年増減) 固有管理職0B 1増、会計年度任用職員 1増、専門員 1増 前年度リニューアル工事による休館のため

2. 予算決算		R5予算	R5決算	R6予算	R6決算
収入	委託料（指定管理料）	6,957,000	6,495,408	24,255,000	18,843,999
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入()	0	0	0	0
	計	6,957,000	6,495,408	24,255,000	18,843,999
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	1,624,000	1,563,564	4,649,000	1,448,987
	維持管理費（委託料・賃借料）	4,343,000	4,206,657	13,606,000	12,608,023
	修繕費	30,000	0	700,000	374,220
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(印刷製本費等)	960,000	725,187	5,300,000	4,412,769
	計	6,957,000	6,495,408	24,255,000	18,843,999
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
開館日数	日	305	303	0	21
				※休館のため	R7.3.9リニューアルオープン

4. 成果指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者数	人	53220	44147	0	5278
				※休館のため	R7.3.9リニューアルオープン

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

リニューアル後も継続して施設のコネプトとしている「下町」の特徴と魅力を伝える企画展示を行い、来館者の増加に向けた取り組みを行っている。令和7年3月9日オープンであったが、3月末までに5278名の方にご来館いただく。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
 (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の作成・提出をはじめ必要な手続きを適切に行うとともに、必要な事項について区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	休館期間中は、区民館にて木版画彫刻や木目込み人形製作体験教室を開催した。また、リニューアルオープン後初回の展示は、「下町ってどんな町」と題し、江戸時代における下町の成立、現在言葉に抱くイメージのもととなる特徴について展示を通じて説明した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	備品及び物品の管理は適切に行われた。また施設の修繕については、付設展示場の管理についても区に迅速に連絡し適切な対応を行った。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設をリニューアルし、1階は壁面全体に路面電車等当時のイメージ映像を投影し、没入感ある再現展示を行っている。また2・3階の展示も来館者の方が楽しみながら学んでいただけるよう、電話交換体験や手に取って遊べるおもちゃコーナー等設置している。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	図録小冊子の売上収入については、当初の想定より37.8%の減となったが、予算の執行及び会計管理は適正に実施された。

(6) 優れた取り組み

＜加点項目＞

※点数上限：10点

指定管理者の自主的な取り組みによる成果

—

点

7. 総合評価

極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (98 / 110点)	【所見】 したまちの魅力を伝えるミュージアムの役割を果たすべく、リニューアルに際し、専門家や学芸員の意見を反映した展示設計を行った。来館者に、体験型で楽しみながらしたまちの良さを知っていただけるよう、工夫を重ねている。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 令和7年3月8日までリニューアル工事実施に伴い休館であったため、図録小冊子売り上げに影響が見られた。
-------------------------------	---	---